

## 日本語教師が知っておきたい「介護の話」 ～介護に携わる外国人の状況と介護現場のコミュニケーション～

フィリピン・インドネシアとの経済連携協定(EPA)による、介護福祉士候補者や看護師候補者の受入れ、介護ヘルパー職に就く定住外国人の増加など、介護現場で働く外国人が増えています。そして、介護の世界から日本語教育業界への支援の要請が高まっています。そこで、日本の社会状況の中での介護について考え、介護に関する基礎的な知識を得る場として本研修を実施します。講義や簡単な体験を交え、介護現場がどうなっているのか、介護の仕事というのは具体的にどのようなものなのか、そこで求められるコミュニケーションとは何かなどについて、一緒に考えていく場にできればと思っています。

◆日時：2010年5月15日(土) 10時～17時

10:00～11:00	【講義】 外国人と介護を取り巻く日本社会の現状
11:00～12:00	【講義】 介護に関する基礎知識
12:00～13:00	【休憩】
13:00～14:00	【事例報告】 介護福祉士の一日とコミュニケーション
14:00～17:00	【ワークショップ】 介護場面の体験とコミュニケーション

※本研修は介護研修2回シリーズの1回目です。2回目は11/13(土)の予定で、内容的には実際の日本語指導をどうしていくかということを行う予定です。ただし、2回とも参加することが義務付けられているわけではありません。

◆場所：東京国際大学早稲田サテライト5 Fマルチホール（東京メトロ東西線「早稲田駅」徒歩5分）

[http://www.tiu.ac.jp/about\\_tiu/about/access.php](http://www.tiu.ac.jp/about_tiu/about/access.php)

◆講師：二文字屋 修(AHPネットワークス)、中山紫乃(介護支援専門員)、剣持敬太(社会福祉士)

◆コーディネーター：神吉 宇一、嶋田 和子(教師研修委員)

◆定員：100名 ◆対象：介護関連の日本語支援をしている、またはこれからする予定や興味がある日本語教師

◆受講料：全日参加か、午前の講義のみ参加か、お申込み時に選択してください。

	会員	一般	学生
全日参加	3,000円	3,500円	2,500円
午前のみ参加	1,000円		

◆申込締切：2010年4月30日(金) ※定員になり次第、締切日前でも募集を終了いたします。

◆申込方法： 申込書のダウンロードはこちらをクリックしてください。 → [参加申込書 \(MS word\)](#)

ホームページより参加申込書をダウンロードして記入し、EメールまたはFAXで事務局までお送りください。折り返し受講料振込み口座等をEメールにてご連絡いたします。参加申込書を送って1週間以上たっても何も連絡がない場合は、書類未着の可能性がございますのでお手数ですが再度ご連絡ください。なお、メールタイトルは「介護研修(5月15日)申込」としてください。本研修に関する連絡は基本的にEメールでのやりとりとなります。あらかじめご了承ください。

※応募書類は返却いたしません。またこの募集に関して集めた個人情報には本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

◆送付先と問合せ：(社)日本語教育学会 教師研修委員会事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会新館

TEL：03-3262-4291 FAX：03-5216-7552 Eメール：kyoshikenshu@nkg.or.jp